

別紙様式 1

令和 5 年度片山中学校区研究推進計画

校番 (17) 呉市立荘山田小学校

校長名 浅木森 宏

1 学校教育目標

新たな創造への挑戦

2 目指す児童生徒像

基本的な知識や技能を身に付け、多様な意見を共有し、主体的に考え表現する児童生徒

3 育成を目指す資質・能力 (具体の姿)

資質・能力 設定した	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性
後期	社会の中で生きて働く基本的な知識や技能を身に付けている。	課題解決に向け、多様な解決方法で考えるとともに、学んだことを目的や相手に応じて、適切に表現している。	社会の生き方との関わりを考えながら、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。
中期		課題解決に向け、よりよい解決方法を考えるとともに、学んだことを目的に沿って工夫して表現している。	自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。
前期		課題解決に向け、既習内容を生かして考えるとともに、学んだことを自分の言葉で表現している。	自らの学習状況を把握し、学習のめあてに向かって最後まで粘り強く学ぼうとしている。

4 研究主題等

(1) 研究主題

主体的に学び、自らの思いや考えを表現できる児童生徒の育成

(2) 設定理由 (校区の児童生徒の課題分析等)

昨年度は、本中学校区の児童生徒の課題を「自ら思いを表現すること」と考え、育成すべき資質・能力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」とし、「授業研究部会」、「心と体部会」の2部会で取り組みを進めてきた。令和4年度の全国学力・学習状況調査では、正答率は、6年生国語科63% (全国平均65.6%) 6年生算数科58% (全国平均63.2%)、9年生国語科70% (全国平均69%)、9年生数学科55% (全国平均51.4%)であった。中学校は全国平均を上回る結果を残すことができたが、小学校はいずれも全国平均を下回った。小学校では、特に算数科における「思考力・判断力・表現力」に課題があり、1単位時間の授業の中でつきたい力を明確にし、適用問題を充実させることで学力の定着を図るといった授業改善を行う必要がある。中学校では、数学的な表現を用いて説明していく活動を増やし、活用力を問う問題の正答率を高めていくという課題がある。「思考力・判断力・表現力」の育成は、算数科と数学科だけではなく、他の教科の授業においても同様のことがいえる。そこで、本年度は「自らの思いや考えを表現すること」を重点課題とし、取組を進めていく。具体的な取組は次のとおりである。

「授業研究部会」においては、1 単位時間の授業の中における「学び合いの充実」に取り組む。具体的な手立てとして3点挙げる。1点目は、児童生徒に考えさせるための発問の工夫を行うことである。これまで本中学校区で研究を積み重ねてきた「学び合いの種」の充実を目指して、より効果的な取り入れ方について授業研究を通して協議を行う。2点目は、読書活動の充実である。「思考力・判断力・表現力」を育成するための基盤となる「早く、たくさん、正確に文章を読める」児童生徒を育成するための9年間を見通した取組の検討を行う。3点目は、ベテラン教員から若手教員への指導技術の継承である。本中学校区では、経験年数の少ない教員の割合が半数を越えており、学び合いの授業を成立させるためには、指導技術の継承が喫緊の課題である。そのため、小中合同研修会の運営の在り方や、研究協議会の進め方の工夫を行い、ベテラン教員と若手教員との意見交流を積極的に図ることができるような仕組みを考え、小中合同研修会を若手教員の授業力向上へとつなげる機会とする。

「心と体部会」においては、ふれあいを大切にした異学年活動を仕組み、自分に自信をもち、表現できる児童生徒を育てていく取組を進める。本中学校区は1小学校1中学校であるため、9年間を見通した児童生徒の人間関係の構築は必要不可欠である。そのため、それぞれの異学年交流活動の意味と位置付けの整理を行い、活動後に検証を行うことを通して、異学年交流活動で児童生徒が交流のよさを実感できる活動の在り方の検討を行う。

5 研究内容

(1) 授業研究部会

①授業改善

- ・思考を深める学び合いの場の工夫
- ・小中合同研修会、研究協議会の改善

②9年間を見通した読書活動の充実

- ・読書タイム（朝読書）や家庭での読書の推進

(2) 心と体部会

①児童生徒のふれあいを大切にしたい異学年交流活動の推進

- ・植栽活動（郷町公園のひまわりの苗植え・3年生、栽培委員会、生徒会）
- ・挨拶運動（計画委員会と生徒会を中心とした活動）
- ・陸上教室（ハンドボール部生徒と6年生の交流）
- ・清掃活動（4年生と7年生の交流）
- ・オープンスクール（6年生と8年生の交流）
- ・絵本会（1年生と7年生の交流）

②「いじめ撲滅」キャンペーンに係る取組

- ・いじめ撲滅標語の小中交流

③防災教育の充実→地域社会の一員である自覚を高める。

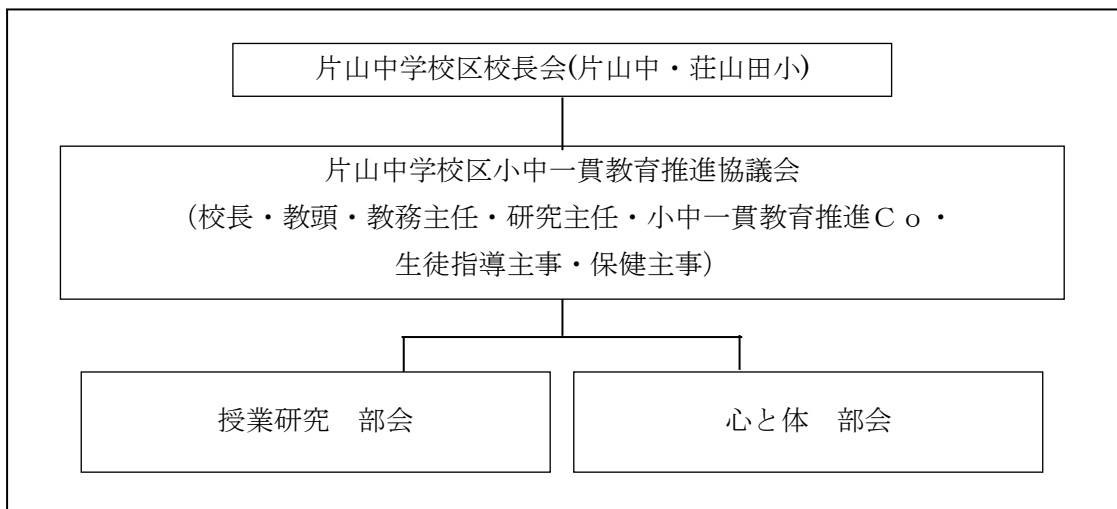
- ・合同防災訓練（小学校と中学校で合同で行う）
- ・総合的な学習の時間での防災学習

6 検証について

	検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
授業 研究 部 会	① 学力が向上したか。	・全国学力・学習状況調査	・全国平均との差	・6年国－2.6 9年国＋1.0 6年算－5.2 9年数＋3.6	・6年国＋1.0 9年国＋2.0 6年算＋1.0 9年数＋2.0
	② 1ヶ月の間に本を1冊以上読むことができたか。	・児童生徒アンケート	・肯定的評価の割合		・肯定的評価 小 85%以上 中 82%以上
	③ 小中合同研修会が自身の授業改善に役立ったか。	・教職員アンケート	・肯定的評価の割合		・肯定的評価8割
心 と 体 部 会	① 異学年交流活動に、自分のめあてにむけて行動することができたか。	・児童生徒アンケート	・肯定的評価の割合	/	・肯定的評価8割
	② 異学年の人と交流することは楽しかったか。	・児童生徒アンケート	・肯定的評価の割合		・肯定的評価8割
	③ 異学年交流活動で他学年の人のよいところやがんばっているところをみつけることができたか。	・児童生徒アンケート	・肯定的評価の割合		・肯定的評価8割
	④ 自分事として真剣に防災訓練に参加することができたか。	・児童生徒アンケート	・肯定的評価の割合		・肯定的評価8割

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等（中→小，小→中）

（中→小）

- ・小学校第6学年 教科は調整中

（小→中）

なし

イ 小学校教科担任制等

なし

8 推進計画

月	内容		
	片山中・荘山田小	中担当	小担当
4月4日	幹事会①（年間計画の打ち合わせ）	山本	高下
5月1日	総会・部会別研修会①（年間計画，役割分担の確認） 幹事会②（6月全体研修会の打ち合わせ）	山本	高下
6月1日	植栽活動（郷町公園のひまわりの苗植え）（栽培委員会・生徒会）	生徒会	栽培委員会
6月	ひまわりの世話（3年生…看板の手直し，草抜き） （栽培委員会…水やり，片付け）		久保 3学年担任
6月19日 ～23日	小中合同挨拶運動（計画委員会・生徒会）	生徒会	計画委員会
6月6日	全体研修会①（小学校授業研究） 指導講話（広島大学大学院教授 松浦武人） 幹事会③（算数県大会にむけての打ち合わせ）	山本	高下
7月	いじめ撲滅標語の交流	生徒指導	藤井
7月25日	幹事会④（8月全体研修会の打ち合わせ）	山本	高下
8月4日 or 10日	全体研修会②（1学期の取組の振り返り・2，3学期の計画） 部会別研修会②（全国学力・学習状況調査，質問紙の結果交流） 指導講話（広島大学大学院教授 松浦武人）	山本	高下
9月5日	全体研修会③（中学校授業研究） 幹事会⑤（算数・数学教育研究大会に向けて）	山本	高下
10月	陸上教室（ハンドボール部・6年生）	体育科	大森
11月15日	広島県算数・数学教育研究大会	山本	高下
11月24日	地域合同防災訓練（全学年）	生徒指導	濱石
12月15日	小中合同地域清掃活動（4年生・7年生）	7学年担任	上村
2月8日 or 1/26	オープンスクール（6年生・8年生）	8学年担任	高下
2月7日	絵本会（1年生・7年生）	7学年担任	長岡
2月29日	全体研修会④（研究のまとめ） 部会別研修会③（1年間の取組の振り返り・来年度に向けて） 幹事会⑥（来年度に向けて）	山本	高下

9 その他

- ・小中一貫だより（年2回発行予定）

※ 研究構想図，カリキュラムマップを添付する。